

DM制作教室

2023年10月12日(木)・13日(金) 2日間 / 日本印刷会館

DMアドバイザー
資格保有者は

2024 全日本DM大賞
DM Award

1次審査が免除
されます!!



全講座を受講の受講者に

「DMアドバイザー」認定証を授与

受講者全員に2大特典つき!!



特典
1

体系的知識でサポート!
新DMの教科書
(B5判・244頁)

進呈!



特典
2

最新事例満載!!
成功するDMの極意
全日本DM大賞
年鑑 2023

進呈!

ワークショップでDM制作の疑似体験ができる!

受講者の
声

具体的な改善策などを教えていただき、スキルがアップした。期待以上であった。(サービス業)

リバース・エンジニアリングによる解析でより深くDM制作について理解できた。(印刷)



写真は過去のグループ発表の様子です

グループワークでは自分とは違った意見を聞くことができ勉強になった、様々なDMを見ることができ考えさせられた。(広告業)

コピーのことだけでなく、マーケティングのことやテクニック、実践まで身に着けやすいカリキュラムでとても勉強になった。(通信販売業)

企画から戦略、実際のテンプレートまで明確に教えてもらったので、すぐ実務に活かせる。(製造販売業)

効果的なコピーの書き方を学ぶことができた。一度読ませたら最後まで読ませるための工夫をする重要性がよく分かった(広告・制作)

企画から改善提案実践までDM制作の基本を2日間で修得できる

日時: 2023年10月12日(木) / 10:00~17:00(受付9:30~)
13日(金) / 10:00~17:00(受付9:30~)

会場: 日本印刷会館 2F 会議室(東京・中央区新富)

受講費: DM協会会員 1名 69,300円(税込) 1社複数名申込みは2人目より58,300円(税込)に特別割引
 一般 1名 99,000円(税込) 1社複数名申込みは2人目より88,000円(税込)に特別割引

特典: 『新DMの教科書』
『成功するDMの極意 全日本DM大賞年鑑2023』を進呈

申込方法: 「参加申込書」または協会HPの「申込みフォーム」よりお申し込みください。

※参加には簡単な事前課題の提出が必要となります。詳細は受講者の方に別途メールでご連絡いたします。

協会HP「DM制作教室」

(<https://www.jdma.or.jp/seminar/seminar.php?id=100>)

申込締切日: 9月22日(金) 事前課題締切日: 9月27日(水) 必着



日本印刷会館 (中央区新富 1-16-8)

TEL 03-3551-5011

<https://www.jfpi.or.jp/kaikan/>

お申込み・お問合せ

日本ダイレクトメール協会
事務局

TEL 03-5541-6311



一般社団法人 日本ダイレクトメール協会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館6F

TEL 03-5541-6311 FAX 03-5541-6322 URL: <https://www.jdma.or.jp>

DM制作の基本、コピーライティング、WebとDM、郵便法規など、 最新事例を基にDM制作の 基本を徹底的に学びます

開催日 **2023年10月12日(木)・13日(金)** 会場 **日本印刷会館**

タイムスケジュール

※講師・講座内容は都合により変更することがあります。※講師名は敬称略

1日目 10/12(木)		10:00~10:15		10:15~12:00 (105分) ※休憩含む		12:00~13:00		13:00~15:10 (130分) ※休憩含む		15:20~17:00 (100分) ※休憩含む		17:10~18:30				
オリエンテーション	ワークショップチーム分け	クリエイティブ～DM制作の基本～ 講師：有田 昇 ■ダイレクトマーケティング概論 ■ダイレクトメールの企画と戦略 ・ターゲット・データ分析 ・オファーの種類と表現方法 ・クリエイティブ戦略とレスポンスアップの方法				休憩	直販媒体の訴求は“一発勝負”と知る！ 講師：向田 裕 ■講義：読み手を説得するポディコピーの書き方とは— ■実践：消費者を惹きつける商品タイトルを書いてみる。				休憩	どこまでできる？制作ガイドラインと信書～DM事例を見ながら制作のヒントを探す～ 講師：吉岡 英彦、総務省 ■郵便法規 ■DM制作時の注意点 ■総務省による信書説明				懇親会(予定)
		2日目 10/13(金)		10:00~12:00 (120分)			12:00~13:00		13:00~14:30 (90分) ※休憩含む			14:40~16:40 (120分)		16:40~16:50		
DM制作のヒントI 講師：吉川 景博 ■自分に届いたDMを検証 ■DMのリバースエンジニアリングとは ■DMリバースエンジニアリング事例紹介		休憩	DM制作のヒントII (ワークショップ) 講師：吉川 景博 アドバイザー：吉岡 英彦 ■DMのリバースエンジニアリング実践ワークショップ (実際のDMを使いワークショップ)				休憩・発表準備	DM制作のヒントII (チーム発表) 講師：吉川 景博 アドバイザー：吉岡 英彦 ■DMのリバースエンジニアリング実践ワークショップ (チームごとに改善ポイント発表)				応募のテクニック 全日本DM大賞		修了式		

ダイレクトマーケティング界をリードする講師陣が、スキルアップと認定資格を保証します。

	有田 昇 (有)アリコー 代表取締役	DMコンサルタント。1968年に大阪外国語大学(現・大阪大学)英語科卒業後、コピーライターとして日本リーダーズダイジェスト社に入社。その後、マッキンゼーエリクソン博報堂でプランニング・マネージャーとしてDMの企画から制作・実施・分析まで総合的に関わる。96年にDMコンサルティングを中心業務とするアリコーを設立し、多くの企業のDMを指導している。	上智大学などでDM講義。全日本DM大賞審査委員などを歴任。著書「実践 一通のDMでお客様の心をつかむ法」「効果がすごいパワーDMの作り方」(ともに中経出版)および神田昌典氏との対談CD「誰も知らないDMの奥の手」は、実践的なDMの教科書としてロングセラーになっている。 ■一般社団法人日本ダイレクトメール協会:理事 ■「新DMの教科書」(宣伝会議)共著者
	向田 裕 通販クリエイティブディレクター コピーライター 編集者	1990年に総合通信販売会社(株)カタログハウス入社。同社発行「通販生活」の商品ページの企画・商品コピーを担当。95年より読み物ページも兼務。主な企画に「筒井康隆さん、断筆をやめて通販生活に小説を書いてください」(読物記事&CM運動企画)。98年よりテレビコマーシャル制作を兼務、「じゃあ、どんな生活がいいの?」「ブッシュ大統領そっくりさんCM」「読者投稿によるCM大賞作」「通販生活の著名人シリーズ」など	どの企画に携わる。2003年『ピカイチ事典』リニューアルに伴いピカイチ商品開発チームに参加。05年より「ネット編集部」編集長。2011年より広告企画室(マス媒体、DM広告制作およびリスト開発政策部門)ゼネラルマネージャー。2014年独立後、通販メディア各種制作、企業研修、コンサルティングの分野で活動。セミナー講師。 ■全日本DM大賞最終審査員(2015年~16年)。 ■著書「売れるポディコピー」(宣伝会議)
	吉岡 英彦 Office309 代表 ダイレクトマーケティングコンサルタント シニアクリエイティブディレクター	1978年、(株)CBSソニー 販売促進部入社。1980年、(株)ジャパングラフィックスから1986年、(株)電通ワンダーマン・ダイレクトへ。35年以上にわたりダイレクトマーケティングのクリエイティブに関わる。2008年7月1日より(株)電通ダイレクトフォースへ転籍。2021年7月1日社名変更。(株)電通ダイレクトを経て現在「Office309 代表」。	■賞歴:第2回全日本DM大賞郵務局長賞/織研新聞大賞佳作/第5回全日本DM大賞部門賞金賞/エコー賞入選/第6回・第12回全日本DM大賞日本DM協会会長賞/第55回カンヌ国際広告祭 ライオンダイレクト ショートリスト入賞他。 ■ECHO賞 一次審査員 ■一般社団法人日本ダイレクトメール協会:派遣講師
総務省 情報流通行政局 郵政行政部 郵便課		総務省 情報流通行政局 郵政行政部 郵便課では、郵便法に規定された信書の定義に基づき、信書に該当する文書を分かりやすく説明した「信書に該当する文書に関する指針(信書のガイドライン)」を策定している。	また、リーフレットの配布、説明会や個別訪問等を通じ、信書制度について幅広く周知広報活動を行うとともに、事業者・利用者から信書に関する照会・相談を受け付けている。
	吉川 景博 フュージョン(株) エグゼクティブ マーケティングディレクター	1993年大手流通小売業入社。マーケティング部門にて広告全般を担当。主に顧客戦略策定、FSP開発、データ分析等、顧客データを活用したプロモーションを実践。現在は、フュージョンにてダイレクトマーケティングを軸とした、企業のマーケティング戦略立案、営業支援、新規顧客開拓などを実践。全日本DM大賞多数入賞実績あり。	■米DMA公認ダイレクトマーケティングプロフェッショナル ■一般社団法人日本ダイレクトメール協会:ダイレクトマーケティング委員長 ■「新DMの教科書」宣伝会議(有田昇・兼松祐二・椎名昌彦・吉川景博共著) ■全日本DM大賞 二次審査員